



安全データシート

Page 1 of 6

LOCTITE SF 7649 PRIMER known as LOCTITE® 7649™ PRIMER

SDS No. : 153666
v001.0

改訂: 09. 03. 2015

発行日: 29. 12. 2015

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 209715
製品名 : LOCTITE SF 7649 PRIMER known as LOCTITE® 7649™ PRIMER

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

<u>危険有害性クラス</u>	<u>危険有害性区分</u>	<u>標的臓器</u>
可燃性/引火性エアゾール	区分1	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3	中枢神経系

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:	H222 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール H229 加圧容器：熱すると爆発のおそれ。 H319 強い眼刺激 H336 眠気又はめまいのおそれ
安全対策	P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P211 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P280 眼保護具/顔面保護具を着用すること。
応急措置:	P304+P340+P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分がわるいときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
保管:	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設 に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
アセトン	>= 70 - < 80 %
イソブタン	>= 20 - < 30 %
銅化合物	>= 0,1 - < 1 %
2-エチルヘキサン酸	>= 0,1 - < 1 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合:	汚染された衣類や靴を脱ぐこと 直ちに多量の水で（可能であれば石けん）洗うこと 再使用する場合には洗濯をすること 医師の診察を受けること
眼に入った場合:	直ちに流水で15分以上、まぶたをよく開いて眼球・まぶたの隅々まで良くいきわたる ように洗うこと。 医師の診察を受けること

- 飲み込んだ場合：** 無理に吐かせないこと
意識の無い場合口から何も与えてはならない
医師の診察を受けること
- 吸入した場合：** 空気の新鮮な場所へ移動させること
呼吸が困難な場合、酸素を与えること。
呼吸をしていない場合は、人工呼吸をする
直ちに医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火剤：** 泡、乾燥化学物質または二酸化炭素。
- 火災時の分解物質：** 炭素酸化物
窒素酸化物
刺激性の有機蒸気。
- 保護具：** 自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。
水は閉じた容器の冷却に使用し、高熱にさらされた際の圧力の増加と自然発火または爆発の可能性を防止する。

6. 漏出時の措置

- 環境に対する注意事項** 製品が下水または排水溝に入らないようにすること。
- 除去方法：** 全ての点火源を排除すること。
適切な換気装置を設置すること。
清掃中は適切な保護具および服を着用すること。
必要以上の人員を近づけないこと。
適切な個人用保護具を着用すること。
不活性な材質のもので吸収する（例えば、砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般的なバインダー、おがくず）。
可能な限りすくい取ってください。
廃棄するまで密閉できる容器に隙間を空けて入れ保管する。
除去作業を行う時は、第8項の暴露防止及び保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い** 眼、皮膚、衣服に付着しないようにすること。蒸気やミストを吸入しないこと。
使用後はよく洗うこと。
使用中また全ての蒸気が換気されるまで：換気を続けてください-
喫煙しないこと；全ての炎、種火、ヒーターを消す事；
ストーブ、電気工具、器具またその他着火源を切る事。
加圧容器に穴を開けたり焼却したりしないこと。
第8項を参照すること。
- 保管：** 涼しく、良く換気のされた場所に保管する。
熱および直射日光を避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

成分	日本産業衛生学会	ACGIH
アセトン	200 ppm 470 mg/m ³ TWA	750 ppm TWA 500 ppm TWA
イソブタン	500 ppm 1.200 mg/m ³ TWA	1.000 ppm TWA
2-プロパノール	400 ppm 980 mg/m ³ CEILING	200 ppm TWA 400 ppm TWA
ベンゼン	(経皮)	0,5 ppm TWA 2,5 ppm TWA
ホルムアルデヒド	0,2 ppm 0,24 mg/m ³ CEILING 0,1 ppm 0,12 mg/m ³ TWA	0,3 ppm TWA
Cobalt	0,05 mg/m ³ TWA	0,02 mg/m ³ TWA

保護具：

呼吸用保護具： 蒸気および煙を吸入しないこと。
十分な換気を保つこと。

換気状態の悪い場所でこの製品を扱う場合は認可された呼吸マスクや有機蒸気カートリッジ付呼吸保護具を使う。

眼の保護具： 保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具： 適切な保護服

9. 物理的及び化学的性質

pH：	データ無し
融点/凝固点：	データ無し
沸点：	56 ° C (132.8 ° F)
引火点：	-20 ° C (-4 ° F)
自然発火温度：	データ無し
蒸気圧：	230 mbar
蒸気密度：	2,0
比重：	0,7936
比重：：	0,7936 g/cm ³
n-オクタノール/水分配係数：	データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性 :

化学的反応性: 強酸化剤
酸

避けるべき条件 穴を開けたり、焼却または48.9 ° C (120 ° F) 以上の温度にさらさないこと。
熱、ガス、火花および他の点火源。
不適合物質とは離して保存すること。

危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物
窒素酸化物
刺激性の有機蒸気。

11. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
アセトン	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分2A		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		中枢神経系
銅化合物	生殖毒性	区分2		
2-エチルヘキサン酸	生殖毒性	区分2		

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報: 下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 地元当局から認可された廃棄物処理。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 2.1
Packing group:
UN no. : 1950
Label: 2.1
EmS: F-D,S-U

Seawater pollutant: -
Proper shipping name: AEROSOLS

Air transport IATA:

Class: 2.1
Packing group:
Packing instructions (passenger) 203
Packing instructions (cargo) 203
UN no. : 1950
Label: 2.1
Proper shipping name: Aerosols, flammable

15. 適用法令

労安法 :

名称等を通知すべき有害物 アセトン
2-エチルヘキサン酸
銅化合物

名称等を表示すべき有害物 アセトン

消防法

第4類引火性液体, 第一石油類 水溶性

毒劇物法 :

該当しない

PRTR法 :

該当しない

高圧ガス保安法

プロパン

16. その他の情報

発行日:

29.12.2015

問い合わせ先:

近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

注意::

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

MSDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社

製品安全性及び規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780

FAX:045-758-1771